

5) 靈的エクササイズ 2. 2020年4月16日

朗読 使徒言行録 3 : 11 - 26

福音 ルカ 24 : 35 - 48

父と子と聖霊の御名によって。アーメン

主イエス・キリストは賛美されますように。神の母、私たちの母マリアは賛美されますように。

兄弟姉妹のみなさん、この黙想会を始めるにあたり、神の光の中に入れていただきましょう。光があるところには、必ず影があることを誰もが知っています。光が弱いところ、光が少ないところには影もはっきりしません。

私たちの多くは、光のないところ、明快とは言えないところで生きていると言えるでしょう。この世は霧の中にあるかのようです。

光のあるところには影もあるはずですが、これは良いことです。私たちは太陽を好みます。暖めてくれますし照らしてくれます。太陽は私たちの中に特定のビタミンを作ってくれるとも言います。こういう知識は私にはあまりないのですが、私たちは聖書から、今日の箇所からビタミンを取りましょう。

朗読箇所より：足が不自由だった人が癒されたあと、ペトロは人々に語ります。力強く、権威を持って語ります。彼は言葉で人を打つことはしません。そうではなく、自由への道を示すのです。

17 「あなた方があんなことをしてしまったのは無知のためであったと私に分かっています。」 19 「自分の罪が消し去られるように、悔い改めて立ち返りなさい。」 20 「主のもとから慰めの時が訪れ、主はあなた方のために前もって決めておられたメシアであるイエスを遣わしてくださるのです。」

みなさん、私たちは息をつく必要があります。コロナウィルスゆえに閉じ込められているから、、、ではありません。

世界は一息入れる必要があります。休憩が必要です。私たちは罪の重みで押し潰されそうです。神から離れ、もはやどこへ向かっていいのかわかりません。どこに命がある？ どこに自由がある？ とさまよっています。

なぜイエスが来られたかということ、忘れてはなりません。イエスの使命はこの世の罪を取り去ることでした。しかしイエスは、十把一絡げ（じっぱひとからげ）に罪を取り払うではありません。ごく個人的に行われます。

例えば、私たちが病気になり、診療所に行ったとします。医者は待合室の患者をまとめて

診察して、まとめて診断書をだしたりしませんね。医者は一人一人を個人的に診察するでしょう？

イエスも同じです。私たち一人一人を個人的に扱われます。私たちを御心へと呼ばれるのです。そして、今の私たちの生き方の中に、イエスが取り去りたいものがあることを示してくださいませ。

罪は私たちを訴えますが、パウロは「誰が神に選ばれた者たちを訴えるでしょう」（ローマ 8：33）と言っています。神が私たちを自由にしてくださるのです。私たちはこれまでの人生の中で、ある状況や、傾向、行い、罪などを忘れてしまったかのように敷物の下に掃き集めて蓋(ふた)をしています。その事は思い出すのも恥ずかしいのです。すると、私たちの敵、悪魔はレッドカードを目の前にちらつかせ、責めてきます。しかし、どのような罪であるかを、悪魔は具体的には言いません

みなさん、今日、イエスのそばで20分、30分、あるいは1時間を過ごすしながら、聖霊に照らしていただくよう祈りましょう。そして、自分の中にある神が取り去りたいものは何なのか、悪魔が差し出すレッドカードの意味は何なのか、悪魔がいつもわたしを訴える原因を教えてくださいませ。

そして、思い出した事をノートに書いていきましょう。自分が忘れてしまいたい恥ずかしい体験、いつも心を締め付けるもの、痛みをあたえることを見つけたら書き留めましょう。そして、1ヶ月後、2ヶ月後、あるいは半年後に告解のチャンスが来たら、赦しの秘跡を受けましょう。

今すぐに告解しないからといって、神は怒ったりしません。とにかく、思い出したことを書いてください。そうするだけで、心が軽くなっていくはずですよ。解放されていきます。心に酸素が入って来ます。

今のこの時期を、非難したり意気消沈して過ごすか、生きるために使うか、私たちは自由に選ぶ事ができます。

イエスは罪を取り去るために来られました。もし、私たちの罪をイエスに差し出さなければ、あなたにとってイエスは、「イエス？ 関係ないね。彼は無駄死にした」ということになるのです。

兄弟姉妹のみなさん。私たちはイエスを愛しています。イエスに喜びを、私たちの体験を差し上げましょう。イエスにご自身を与えてくださいました。敵から解放してくださいました。恐れを持たずに主に仕えましょう。毎日を神の御顔を仰ぎ見て生きていきましょう。

みなさん、昨日私が説明したプログラムにすべて参加できるかどうか、ということは問題

題ではありません。この状態のこの時期に、静かな時を持ち、イエスと過ごすことが大事なのです。説教を聞くだけ、あるいは聖体礼拝を数分間するだけでもいいのです。しかし、この時間に何をすべきかを知っておく事が大事です。

嬉しいことに、これまでに60人ほどの人がこの黙想会に参加したいと連絡をくれました。私たちは主の御前で良い共同体であると思います。明日、明後日、数日後に参加する方を歓迎します。

ミサをライブであずかれなくても、あとでビデオで参加してください。神はあなたの心をごらんになります。

力、喜び、愛で主が祝福してくださいますように。主の現存を生きることができますように。父と子と聖霊の御名によって。アーメン